

いよいよ実践講座始まる

自治活動部会は、生徒会活動・HR 活動・部活動などを通して、生徒の成長・発達をどう保障するかの視点に立って研究をしています。

昨年の1月に「生徒会活動の指導に関するアンケート」を県内の高校の生徒会担当者を対象に行ったところ、15校の担当者から回答がありました。そこからは①生徒会担当者に大きな負担がかかっている②生徒会役員の定例会議がなかなか持てない③多忙化の中で、行事に対する多くの教師たちの負担感が増している④指導のノウハウやマニュアルが継承されていないなどの実態が見えてきました。

こうした実態をふまえ、本部会としては『学習・交流会』のような機会を作りたいと考え、まずは生徒会担当者から生の声を聞き、そこからどんなことをしていくかを探ることになりました。



去る10月29日
(金)、前橋市内の高校の生徒会担当者及びアンケートに回答

を寄せていただいた方を中心に交流会を持ちました。以下、出された意見の要約を記します。

Aさん：本校では毎年文化発表会をやっており、財産となっている。毎年やるのが継続した力になっている。同じ苦勞ならば毎年やる方が実のある苦勞だ。また校長への要望書提出活動がある。これは自分の学校を変えていくということは社会に出た時に大切だと思っている。

Bさん：前任校での経験を生かして行っているが、自分が一番若く、係内の動きをつくるのが難しい。生徒たちはいろいろ変えたいと言っているが、何も変えられずに終わっている。上に持っていくと駄目なものは駄目になってしまう。生徒の不平不満をどのように持

っていったらいいか悩んでいる。

Cさん：学校は何かというと生徒会にやらせればいいという雰囲気がある。しかし、関係する先生を立てないとへそを曲げてしまうこともあり容易ではない。

Dさん：生徒会系の先生方は自分も含めて全員が初めてで、どうやっていいのか困っている。特に、来年度は文化祭が予定されており、今は情報を集めることが急務になっている。

Eさん：生徒会行事をこなしていくだけで手一杯で、改善とか工夫ができず、生徒達はやらせられているという感じを持っている。

Fさん：生徒会係は希望してやっている。生徒達は年々自主的にできなくなってきており不満を感じている。校長は全職員で行事をやらせと言う。先生が何でもやるので見た目はうまくいくが、何のためにやっているのかという思いがある。生徒の自主性を育てると言うことが失われてしまう。

これらは意見のほんの一部です。生徒会活動はどうあるべきか、生徒会系の立つべき位置はどうあるべきかなど多くの悩みが出されました。その上で、本部会としては「実践講座」を開催することにしました。

第1回 1月28日(金) 18:30～

年度初めの準備や執行部の指導等

第2回 2月18日(金) 18:30～

文化祭をどうつくるか

第3回 3月18日(金) 18:30～

体育祭をどうつくるか

会場は教育会館1階小会議室